第 1893 号
令和８年９月１日

裁判所時報

発 行
最高裁判所
事 務 総 局
（毎月１日・15 日発行）

（目　次）

◎記事 ---------- 1

●広報テーマ（１０月分）
●叙位・叙勲（６月分、死亡者のみ）
●人事異動（８月３日～８月１７日）

◎裁判所だより ---------- 3

●「～お茶と歴史の町～」
（宇治簡易裁判所）
●「庭園のある裁判所（会津藩の城下町）」
（福島地方・家庭裁判所会津若松支部、会津若松簡易裁判所）

記事

◎広報テーマ（１０月分）

国際知財司法シンポジウム２０２６
Judicial Symposium on Intellectual Property/TOKYO2026(JSIP2026)

【開催日】 ２０２６年（令和８年）１０月２２日（木）、１０月２３日（金）
【プログラム】
１０月２２日（木）１３：３０～１８：００
裁判所パート
①模擬裁判１（イントロダクション・技術説明会）
②模擬裁判２（日韓欧米・国際大合議法廷）
③パネルディスカッション（均等論の国際比較と未来の知財司法について）

１０月２３日（金）１３：３０～１８：００
特許庁パート
①パネルディスカッション（特許：公然実施発明の認定判断の国際比較）
②パネルディスカッション（商標：不使用取消審判の国際比較）
主催者合同企画
パネルディスカッション
（ＪＳＩＰ開催１０周年記念企画～この１０年で変化した知財司法を取り巻く環境～）

【パネリスト】日本、韓国、欧州及び米国の裁判官・弁護士・審判官等の実務家

【言　語】日本語・英語（同時通訳）

シンポジウム概要

知財紛争に関する司法判断や近時の知財トピックについて、各国の法曹関係者や審判官等をお招きして、模擬裁判やパネルディスカッションを行います。
我が国はもとより世界各国の知財制度や運用に関する最新事情を提供するイベントとして、２０１７年の初開催以降、毎年、大変多くの方のご参加とご好評をいただいております。
１０回目の開催となる今回は、日本、韓国、欧州及び米国の法曹関係者や審判官等の実務家が、知的財産紛争解決に関する最新の議論と課題について充実したプログラムを展開する予定です。

会　場
弁護士会館２階 講堂「クレオ」
東京都千代田区霞が関1-1-3
（東京メトロ「霞ケ関駅」B1-b出口直結）



参加費及び視聴費無料（要事前登録）
会場での観覧 インターネット同時配信
・いずれの方法であっても、専用ウェブサイトから事前の登録が必要となります。
・会場においては講演資料等の閲覧用としてタブレット端末を貸し出します。

主　催
最高裁判所、知的財産高等裁判所、法務省、特許庁、日本弁護士連合会、弁護士知財ネット
※開会式「国際知財司法シンポジウム２０２６」事務局
Email：jsip2026@jsip-tokyo.go.jp

後　援
経済同友会、世界知的所有権機関（WIPO）日本事務所、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本知的財産協会
（令和８年７月８日現在）
※プログラムの詳細や資料、事前登録方法等につきましては、専用ウェブサイト（https://jsip-tokyo.go.jp/）を開催ください。
※会場で観覧いただく場合には、写真や動画（一般・アーカイブ）に取り込む可能性があります。あらかじめご了承ください。
※YouTubeの「最高裁判所最高チャンネル」には、過去のJSIPの動画をアップしているので、見ればご覧ください。

【最高裁判所最高チャンネル YouTube】


１０月１日は
「法の日」です！

「法の日」とは？
＊ 法を尊重する
＊ 法によって基本的人権を守る
＊ 社会秩序を確立する
といった精神を高めるための日です。



10月1日から1週間は「法の日」週間です！
裁判所、法務省・検察庁及び弁護士会では、毎年、各種の行事を企画・実施しています。法の役割や重要性について考えていただくきっかけとして、ぜひご参加ください。



裁判所でも行事を実施予定です！
ぜひご参加いただき、
法や裁判所を身近に感じてみませんか？
お近くの裁判所で実施予定の行事は
裁判所ウェブサイトをご覧ください。



https://www.courts.go.jp/index.html　○○地裁　法の日

◎叙位・叙勲（６月分、死亡者のみ）

別紙「叙位・叙勲（令和８年６月、死亡者のみ）」のとおり

◎人事異動

定年退官
さいたま家庭裁判所長　高山光明
（８月３日）

さいたま家庭裁判所長
東京高等裁判所判事　谷口　豊

東京高等裁判所判事
大阪高等裁判所判事　谷口安史

大阪高等裁判所判事
京都地方裁判所長　野田恵司

京都地方裁判所長
大阪高等裁判所判事　村越一浩

大阪高等裁判所判事
福井地方・家庭裁判所長　丸田　顕

福井地方・家庭裁判所長
名古屋高等裁判所金沢支部判事　増田啓祐

名古屋高等裁判所金沢支部判事
横浜地方・家庭裁判所小田原支部長　竹下　雄

横浜地方・家庭裁判所小田原支部長
さいたま地方・家庭裁判所判事　室橋雅仁

さいたま地方・家庭裁判所判事
東京高等裁判所判事　島戸　純
（以上８月４日）

東京高等裁判所判事
司法研修所教官　平野佑子
同　佐藤しほり

司法研修所教官
東京地方裁判所判事　坂川波奈子
（以上８月５日）

大阪高等裁判所判事
事務総局人事局任用課長兼調査課長　中村修輔

事務総局人事局任用課長兼調査課長
事務総局人事局参事官　冨田環志

事務総局人事局参事官
東京家庭裁判所判事　野口晶寛
（以上８月８日）

定年退官
東京簡易裁判所判事　林　一宣
（８月１０日）

川崎簡易裁判所判事　辻川靖夫

東京簡易裁判所判事
川崎簡易裁判所判事　土田昭彦
（以上８月１１日）

定年退官
　東京高等裁判所判事　宮坂昌利
（８月１６日）
東京高等裁判所判事
　千葉家庭裁判所長　松村　徹
千葉家庭裁判所長
　大阪高等裁判所判事　小森田恵樹
大阪高等裁判所判事
　高松家庭裁判所長　野原俊郎
高松家庭裁判所長
　東京家庭裁判所判事　西野吾一
東京家庭裁判所判事
　東京地方裁判所判事　矢野直邦
東京地方裁判所判事
　東京高等裁判所判事　大野　洋
（以上８月１７日）

◎裁判所だより

「～お茶と歴史の町～」

（宇治簡易裁判所）

宇治簡易裁判所は、市役所などが立ち並ぶ宇治市の中心部に位置しています。宇治市は京都市の南隣に位置し、大阪や京都圏のベッドタウンとしての一面も持ち、人口約１８万人という、京都府内では多くの人口を抱える都市となっています。当庁は宇治市だけでなく他に、城陽市、久御山町も管轄しており、管内人口は約２６万人程度となっています。



（写真は、宇治簡易裁判所庁舎）

宇治は古来より風光明媚な土地として有名であり、和歌に詠まれたり、古くは平安時代に多くの貴族がこの地に別荘を構えたりしたといいます。その中で特に有名なものは、１０円硬貨の表に描かれていることでも知られる、平等院鳳凰堂であり、もとは藤原道長が別荘、宇治殿として利用していたものです。その宇治殿を藤原道長の子である藤原頼通が寺院、平等院鳳凰堂としたもので、その優美な寝殿造の姿を現在にまで伝えています。今ではその参道に様々な店が立ち並び、この地を訪れた人々を楽しませています。

宇治は、お茶の名所としても人々に知られており、お茶そのものを味わうだけでなく、スイーツやビールにも利用するなどして、お茶の様々な楽しみ方を提供しています。このように観光資源に豊富な宇治では日本人だけでなく、外国人の姿もよく見られます。

また、宇治は物語の舞台とされることも多く、令和６年の大河ドラマ「光る君へ」の主人公である紫式部によって書き上げられたとされる源氏物語の第３部に、宇治を舞台とした物語が描かれており、宇治十帖として有名です。古典だけではなく、最近ではアニメの舞台としても有名となっており、アニメに描かれた場面のもととなった場所を「巡礼」して回るアニメファンの姿も見受けられます。



（写真は、宇治十帖の像）

宇治簡易裁判所は昭和５４年の竣工ですが、当時から、庁舎敷地内には桜の木がいくつも植わっており、裁判所と時を共にして歩んできました。春には多くの花を咲かせていましたが、近年、虫に食われるなどして、その多くを伐採せざるを得ない状況となってしまいました。一方で、竣工当時からある、門扉近くの歩道に面した桜の木がいまだに大きな枝を保ち、毎年春には見事な花を咲かせ、道行く人の目を楽しませ、親しまれています。当裁判所は竣工以来、利用者の利便性を考慮し幾度かの改修が行われましたが、裁判官、職員においても、利用者から親しみ、信頼を得られるよう、一同がこの地に根を張り、力を合わせて日々執務に励んでいます。



（写真は、紫式部の像）

◎裁判所だより

「庭園のある裁判所（会津藩の城下町）」

（福島地方・家庭裁判所会津若松支部、会津若松簡易裁判所）

福島地方裁判所会津若松支部、福島家庭裁判所会津若松支部、会津若松簡易裁判所のある会津若松市は、福島県西部に位置し、磐梯山や猪苗代湖など豊かな自然に囲まれ、また、江戸時代末期の戊辰戦争の舞台となった地でもあり、自然景観及び歴史的名所に恵まれた街です。さらに、新選組の土方歳三や、竹下夢二、与謝野晶子などの文人にも愛された温泉地である東山温泉、豊かな自然の中で育まれた水と米を使用した酒蔵などもあり、観光地として有名です。



（写真は、福島地方・家庭裁判所会津若松支部、会津若松簡易裁判所庁舎）

裁判所の庁舎は、鶴ヶ城の北側入口付近に位置する、旧会津藩家老内藤邸宅跡に明治９年に設置されました。現在の庁舎は昭和４０年に建設された後、耐震改修工事など大きな改修を経て、今日に至っています。

鶴ヶ城は、戊辰戦争において会津藩を含む旧幕府軍が降伏するまでの間、新政府軍からの一か月にも及ぶ猛攻に耐え、難攻不落の名城として知られるようになりました。一旦は全ての建物が取り壊されましたが、その後再建され会津若松市の象徴となっています。平成２３年には、屋根瓦が幕末当時の赤瓦にふき替えられました。現存する国内唯一の赤瓦の天守閣となっており、裁判所庁舎からは、その天守閣の赤瓦を望むことができます。



（写真は、裁判所庁舎から見える鶴ヶ城天守閣）

裁判所敷地内には、会津藩家老邸宅があった時代から残る白露庭という大きな庭園があり、遠州流庭園としてヒマラヤスギ、トウカエデの高木、ゴヨウマツ、キャラボク、ツツジ等の中低木や庭石が配置され、観光客が訪れています。白露庭は、鶴ヶ城玄関口にある歴史的にも貴重な緑地であり会津若松市の景観形成上重要であるとして、市の自然景観指定緑地に指定されています。その白露庭がある裁判所敷地の隣には、同じく会津藩家老として戊辰戦争を戦った旧西郷頼母邸跡があり、その間にある路上で戊辰戦争の会津藩降伏式が行われたとされています。この通りには、造り酒屋の蔵などがあり歴史を感じさせる町並みとなっていることから、裁判所のブロック塀は、周辺の景観にマッチするよう黒色に塗られています。



（写真は、会津藩家老邸宅があった時代から残る白露庭）

会津若松市内には他にも、会津藩の配下で旧幕府軍として戦った新選組の近藤勇の墓が天寧寺に、斎藤一の墓が阿弥陀寺にあり、また、会津藩の少年たちで編成された白虎隊が新政府軍の猛攻から敗走した後に自決した飯盛山など、歴史的名所が多数あります。

毎年９月下旬には会津最大の祭りである「会津まつり」が開催され、総勢約５００名が鶴ヶ城から市内を歴代領主、武者、姫君など様々な時代の会津藩の人々の姿に扮装して練り歩く「会津藩公行列」が行われます。この行列は、鶴ヶ城を出発して、裁判所の東側を通り、街の中心部に向かいますが、テレビドラマで会津藩出身の主人公を演じた俳優が参加したことでも話題となりました。

（別紙）

叙　位　・　叙　勲（令和８年６月、死亡者のみ）

職　　名	氏　　名	発令日	位　階 勲　等
元日本弁護士連合会常務理事	関　　周　行	6.5	従五位
元名古屋地方裁判所事務局次長	浅　野　裕　司	6.10	従五位
元福岡地方裁判所民事訟廷管理官	谷　　徹	6.23	従五位 瑞双